

PPG SIGMAFAST™ 278

説明

2液性 ハイソリッド リン酸亜鉛 エポキシ樹脂系 下塗り及び中塗り塗料

特長

- 防食塗装システムのエポキシ下塗り又は中塗り塗料
- 大気暴露環境下において耐食性に優れている
- -5°C (23°F) まで硬化可能
- 鋼材加工で硬化が速い
- エアレススプレーでの塗装が容易
- さまざまな仕様が可能
- ACQPA 27752 認定

色相及び光沢

- レッドブラウン、グレー及び (MIO色の範囲内において) 調色可能
- セミグロス (半ツヤ)

注意点:

- エポキシ樹脂系塗料が日光、高温又は化学物質に曝されることによってチョーキングを引き起こし、色相を衰えさせる可能性がある。変色及び通常のチョーキングは性能に影響を及ぼさない。淡彩色は時間の経過とともに暗くなる。複数のバッチ間で色相変動が起こる可能性がある。色相の一致は近似のものとする。
- 屋外的美観を要する場所でエポキシコーティングを使用する場合は、紫外線に強いトップコートの追加を検討する必要があります。

基本データ 20°C (68°F)

混合物のデータ	
構成	2液性
密度	1.5 kg/l (12.5 lb/US gal)
固形分 (容量)	80 ± 2%
VOC (供給時)	Directive 2010/75/EU, SED: 最大 153.0 g/kg UK PG 6/23(92) Appendix 3: 最大 230.0 g/l (約 1.9 lb/US gal) 220.0 g/ltr (1.8 lb/US gal); EPA Method 24
推奨膜厚	75 - 250 µm (3.0 - 10.0 mils)
理論塗布量	6.4 m²/l - 125 µm (257 ft²/US gal - 5.0 mils)
指触乾燥	2 時間
塗装インターバル	最短: 2 時間 最長: 無制限
完全硬化	4 日

PPG SIGMAFAST™ 278

混合物のデータ

貯蔵安定期間

基剤: 24 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

硬化剤: 24 ヶ月 (乾燥した冷暗所にて保管した場合)

注意点:

- 追加データ参照 - 塗布量及び膜厚
- 追加データ参照 - 塗装インターバル
- 追加データ参照 - 硬化時間

推奨素地調整 及び 被塗面温度

- 表面の準備ができたなら、できるだけ早くこの製品を指定の厚さに塗ってください。

被塗面状態

- 鋼: ISO-Sa2½ または最少SSPC-SP6、ブラストプロファイル 40 – 70 µm (1.6 – 2.8 mils) またはパワーツール洗浄 最少ISO-St3 / SSPC-SP3

シヨップ鋼板又は旧塗膜

- 適合する被塗面は乾燥し異物等の付着がなく清浄であること
- 必要な場合、被塗面は充分目粗しすること
- ジンクシリケートに塗装する際は、ミストコート及びフルコートが必要となる

亜鉛メッキ鋼板

- 表面は適切に準備され、乾燥 / 清潔で汚染がない状態であること。
- 均一でマットな外観を実現するには、スweepブラストによって表面を十分に粗くする必要があります。
- SSPC SP16 ガイドラインに従ってブラストをスweepする。

ステンレス鋼

- 表面は適切に準備され、乾燥 / 清潔で汚染がない状態であること。
- 表面は、不活性な非金属研磨剤を使用したスweepブラストによって十分に粗くする必要があります。
- SSPC SP16 ガイドラインに従ってブラストをスweepする。

溶射メタライゼーション (TSM)

- 表面は乾燥し異物等の付着がなく清浄であること
- ミストコート / フルコート技術が必要です。下記の使用説明書の部分にあるミストコートの薄化に関する推奨事項を参照してください。

PPG SIGMAFAST™ 278

被塗面温度及び塗装条件

- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は少なくとも露点より 3°C (5°F) 以上高いこと。
- 塗装中及び硬化中の被塗面温度は -5°C (23°F) まで可能である; 被塗面が凍結なく乾燥していること
- 塗装中及び硬化中の相対湿度は85%を超えないこと。

使用上の注意

混合比(容量): 基剤: 硬化剤 = 3:1

- 15°C (59°F) より高温な塗料が塗装に適しており、適合する塗料温度に満たない場合は粘度調整のため、さらに希釈が必要になる。
- 過剰なシンナーの添加は塗料のタルミ性の低下、乾燥の遅延を引き起こす
- シンナーは基剤と硬化剤の混合・攪拌後に添加すること。

可使時間

1 時間 (20°C (68°F))

エアスプレー塗装

希釈率

0 - 10%、規定膜厚や塗装条件による

チップサイズ

1.7 - 2.0 mm (約 0.070 - 0.079 in)

2次圧

0.3 - 0.4 MPa (約 3 - 4 bar; 44 - 58 p.s.i.)

エアレススプレー塗装

希釈率

0 - 10%, 30 - 50% (ミストコートをした場合)

チップサイズ

約 0.46 - 0.53 mm (0.018 - 0.021 in)

2次圧

20.0 - 25.0 MPa (約 200 - 250 bar; 2901 - 3626 p.s.i.)

PPG SIGMAFAST™ 278

刷毛/ローラー塗装

希釈シンナー

THINNER 91-92

希釈率

0 - 5%

注意点:

- ローラー塗装はローラー跡が残るため最低DFTを必要とする場合のみ使用すること
- エポキシ塗装に適したローラーを使用すること
- 本塗料のチキソトロピック性のため刷毛塗りは刷毛跡が残る場合があり、狭小箇所、鋭角箇所、ストライプコート又はタッチアップに最適

洗浄用シンナー

- THINNER 90-53

追加データ

塗布量及び膜厚	
DFT	理論塗布量
75 µm (3.0 mils)	10.7 m²/l (428 ft²/US gal)
125 µm (5.0 mils)	6.4 m²/l (257 ft²/US gal)
250 µm (10.0 mils)	3.2 m²/l (128 ft²/US gal)

膜厚125 µm (5.0 mils) での塗装インターバル						
重ね塗り塗料	インターバル	-5°C (23°F)	0°C (32°F)	10°C (50°F)	20°C (68°F)	30°C (86°F)
さまざまなエポキシ、ポリウレタン、PSX塗料	最短	24 時間	14 時間	4 時間	2 時間	1 時間
	最長	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限

注意点:

- 実際の最大オーバーコート時間は、地域の状況に影響されます。
- 次のコートの接着性を確実にするために、表面は乾燥 / 洗浄および、または研磨を必要とするすべての汚染 (油、グリース、チョーキングなど) がない必要があります。
- 30日間の暴露後にチョーキングや汚染がある場合は、トップコートを塗布する前にPREP 88または同等品で洗浄をお勧めします。

PPG SIGMAFAST™ 278

膜厚125 µm (5.0 mils) での硬化時間

被塗面温度	指触乾燥	ハンドリング可能	完全硬化
-5°C (23°F)	16 時間	38 時間	N/A
0°C (32°F)	11 時間	24 時間	21 日
10°C (50°F)	4 時間	8 時間	8 日
20°C (68°F)	2 時間	4 時間	4 日
30°C (86°F)	1 時間	2 時間	3 日

注意点:

- 塗装中及び硬化中は適切な換気を維持すること

可使時間 (塗装可能粘度)

混合塗料温度	可使時間
0°C (32°F)	10 時間
10°C (50°F)	3 時間
20°C (68°F)	1 時間
30°C (86°F)	30 分

安全予防策

- 安全性と予防措置の要件については、安全データシートと製品ラベルを参照してください。
- 本製品は溶剤型塗料のため、スプレーミストや蒸気の吸引、塗料の皮膚、眼への接触に注意すること。

ワールドワイド対応

PPG Protective & Marine Coatings (PPGプロテクティブ&マリン コーティングス) は、常に世界中どこでも同じ製品を供給することを目標としています。しかしながら、地域や国内の法規/状況を順守するにあたって、製品の微調整が必要となる場合があります。その場合は、代替の製品データシートが使用されます。

参照

- Information sheet | Explanation of product data sheets

保証

PPGは、(i) 製品の所有権、(ii) 製品の品質が、製造時点において PPGが定める製品仕様に準拠していること、ならびに (iii) 製品は第三者のいずれの米国特許権も侵害していないことを保証します。これはPPGによる唯一の保証であり、商品性、特定用途および目的への適合性、非侵害性、権原、または制定法あるいはそれ以外の法律、もしくは取引の過程、履行の過程、慣習法、または取引慣行により生じる保証をはじめとして、明示または黙示を問わず、あらゆる種類の保証も行わず、または明示的に責任を排除します。本保証に基づきいかなる請求も、購買者が当該欠陥や不具合を発見してから5日以内にPPGに対して書面にて行うものとし、また製品に適用される保管期間、あるいは購買者または購買者が指定する配達先に商品が届けられた日から起算して1年のいずれか早い方が過ぎていないことを前提とします。購買者が本規定に適合しないことをPPGに通知しなかった場合、購買者は本保証に基づく担保責任の追及をすることはできません。

PPG SIGMAFAST™ 278

賠償責任の制限

PPGは、いかなる場合も、製品の使用に関連または起因する、あるいは結果としての間接的、特別的、付随的、派生的な（過失、厳格責任、不法行為のいずれを原則とするかに関係なく）損害回復の理論に基づく一切の責任を負わないものとします。本書の情報はガイダンスのみを目的に作られたものであり、PPGが信頼に値すると考える臨床実験を基にしたものです。PPGは、実地経験および継続的な製品開発の結果として、いつでも本書記載の情報を修正することができます。PPG製品の使用に関連する推奨や示唆は、それらが技術文書内で用いられているかどうか、あるいは特定の問い合わせに対する回答に関わらず、PPGが知り得る限りにおいて信頼できるデータに基づくものとします。製品および関連する情報は、当該産業における必須知識および技能を有するユーザーを対象としており、製品が個々の特定利用に適しているかどうかの判断は、ユーザーの単独責任であり、購買者は独自の裁量権とリスク引受において行うものと見なされます。PPGは、基質の品質または状態、あるいは製品の使用や用途に影響を及ぼしうる数多くの要素については管轄外であり、(契約書に明記されている場合を除き)本情報の使用や内容に起因する損失、被害、損害の責任を一切負わないものとします。適用する環境の変化、使用手順の変更、データの補完に伴い、不十分な結果がもたらされる場合がありますが、本書は先行するあらゆるバージョンに優先し、製品の使用に先立って、本情報が現行のものであるかの確認は購買者の責任とします。すべての PPG Protective & Marine Coatings Products (PPGプロテクティブ&マリンコーティングス製品) の最新データシートは、www.ppgpmc.comにて閲覧可能です。また本書の英語版は他の翻訳版に優先するものとします。

